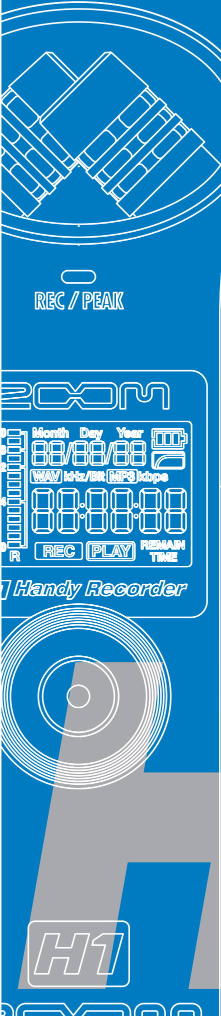


Handy Recorder H1

クイックスタートガイド

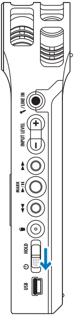
ご使用になる前に
「安全上／使用上のご注意」を
必ずお読みください

株式会社 ズーム
101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
www.zoom.co.jp

H1-5010-2

準備する 電源のオン・オフ

起動／終了のしかたを説明します。

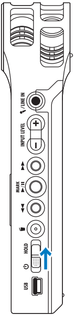


1. 起動するには、電源スイッチを約 1 秒下側にスライドさせます。

2. 終了する場合も、同様に電源スイッチを約 1 秒下側にスライドさせます。

準備する ボタン操作を無効にする

ボタン操作を無効にします。
誤って停止したくない時などに使用します。

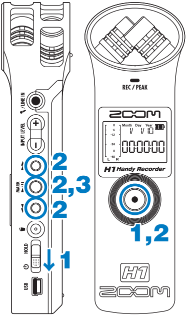


1. 無効にするには、電源スイッチを上側にスライドさせます。

2. 解除するには、電源スイッチを中央の位置まで戻します。

準備する　日時の設定

本製品の日時設定を行います。

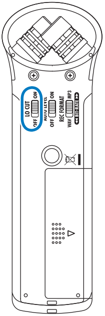


1. ⦿ を押しながら、電源をオンにします。
2. ◀◀ ／▶▶ で数値を選択し、▶/II で次の項目に進みます。
   - 前の項目に戻りたいときは、⦿ を押します。
3. 最後の項目（秒）を設定し終えたら、▶/II を押して終了します。

MEMO
日時の設定が初期化されたときは、自動的にこの設定画面が表示されます。

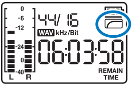
準備する　雑音の軽減

ローカットフィルタ機能のオン／オフを選択できます。
オンにすると、風雑音などを軽減させる効果があります。



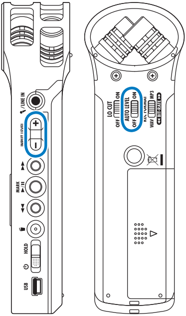
1. LO CUT 切り替えスイッチを ON 側にスライドします。

LO CUT アイコンが表示されます。

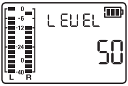


準備する　入力レベルの調整

入力信号のレベル調節を行えます。自動で調節させることもできます。



1. 入力レベル調節スイッチの＋－を押して、レベルを調節します。自動で調節したいときは、AUTO レベル切り替えスイッチを ON にします。



・調節中は画面に数値が表示されます。

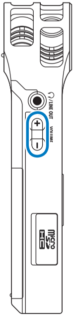
MEMO

AUTO レベル切り替えスイッチを ON にしてあるときは、入力レベル調節スイッチでの調節はできません。

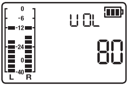
PEAK/REC LED が高速点滅しているときは音がひずむ場合がありますので、入力レベルを下げてください。

準備する　出力レベルの調整

ライン／ヘッドホン出力端子や内蔵スピーカーからの出力レベル（音量）を調節できます。



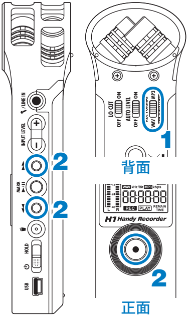
1. 音量調節スイッチの＋－を押して、レベルを調節します。



・＋または－ボタンを長押しすると、数値をすばやく変更できます。

準備する 録音フォーマットの選択

録音フォーマットやレートを選択できます。



1. 録音フォーマットを選択します。

2. ◀◀／▶▶でレートを選択し、(●)で決定します。

・画面には選択中のレートで録音できる残り時間が表示されます。

MEMO

MP3 はデータを圧縮するため音質が WAV より下がりますが、microSD カードの容量を節約する事ができます。どちらのフォーマットもレート数字が大きい程、高音質になります。

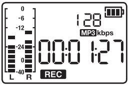
操作する 録音する

起動した後に表示される通常画面からボタン一つで録音が開始されます。



1. (●)を押すと、録音が開始されます。

・画面には録音時間が表示されます。



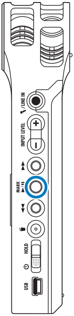
2. 停止するには、再度(●)を押します。
通常画面に戻ります。

MEMO

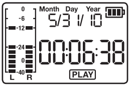
microSD カードが挿入されていない状態でも最長で 35 秒、本体メモリに録音する事ができます（1 ファイルのみ）。この場合、録音するたびにファイルは上書きされますので、ご注意ください。

操作する 再生する

録音した内容を再生します。



1. ▶/II を押すと、最後に録音したファイルが再生されます。



・画面にはファイルの残り再生時間が表示されます。

●主なボタン操作

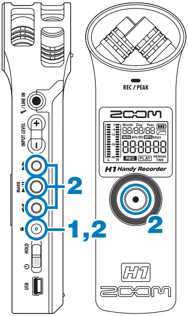
再生ファイルの選択 ……	再生中に◀◀／▶▶
一時停止・解除 …………	再生中および一時停止中に ▶/II
通常画面へ戻る …………	◉

MEMO

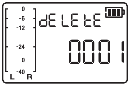
全てのファイルを再生し終えたら、自動的に再生停止します。

操作する 削除する

録音したファイルを削除します。



1. 削除したいファイルを再生中に 🗑 を押します。

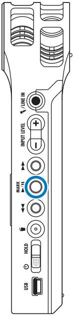


2. ◉ で決定します。

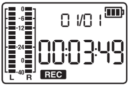
キャンセルしたいときは、▶/II、◀◀／▶▶ または 🗑 のいずれかを押します。

準備する　トラックマークの設定

録音ファイルにトラックマークを付けることができます。



1. 録音中に、マークを付けたいタイミングで ▶/II を押します。



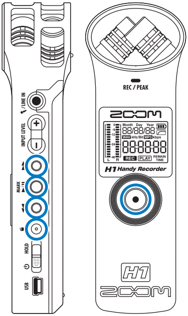
- マークを付けると、ファイル再生中に ◀◀ ／▶▶ を使って、マーク位置で頭出しすることができます。
- マークを付けることができるのは、録音フォーマットが WAV のときのみです。

MEMO

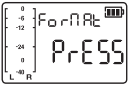
マークは 1 ファイルにつき最大 99 個まで付けられます。

準備する　microSD カードのフォーマット

不正なフォーマットの microSD カードが挿入されると、フォーマット確認画面が表示されます。



1. フォーマットする場合は、● を、しない場合は、▶/II、◀◀ ／▶▶ または 🗑 のいずれかを押します。



2. フォーマット終了後またはキャンセル時、通常画面に戻ります。

MEMO

🗑 キーを押しながら起動する事で、この確認画面を表示させる事もできます。

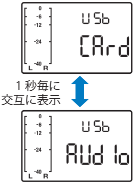
接続する

外部機器との接続＜追補＞

Ver.2 の新機能

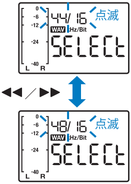
1. 本製品の電源をオフにした状態で、Windows 搭載 PC または Macintosh と USB ケーブルで接続します。

2. **＜MicroSD カードリーダーとして使用するには＞**
「CArd」と表示されているときに ◉ を押します。
＜オーディオインターフェースとして使用するには＞
「AUdIo」と表示されているときに ◉ を押します。



MEMO
10 秒間操作を行わないと自動的に MicroSD カードリーダーとしての動作が始まります。

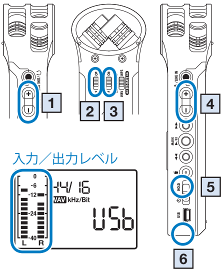
3. **＜「CArd」を選択した場合＞**
MicroSD カードリーダーとしての動作が始まります。
＜「AUdIo」を選択した場合＞
「サンプリング周波数を選択する画面が表示されるので、◀◀／▶▶ で周波数を選択し、◉ を押します。



MEMO
サンプリング周波数は、録音ソフトや再生ファイルと同じ設定にしてください。

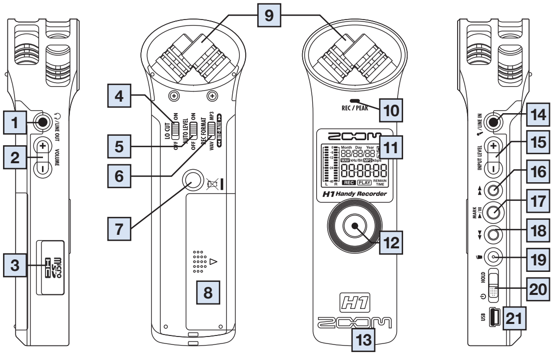
4. オーディオインターフェースとしての動作が始まります。
本製品の入力信号はコンピューターへ送られ、コンピューターでの再生信号を本製品でモニターする事ができます。

1	出力レベルの調整
2	LO CUT 機能の切り替え
3	AUTO レベル機能の切り替え
4	入力レベルの調整
5	キーを無効にする
6	ライン／ヘッドホン出力端子未使用時、コンピューターの再生信号をモニターできます

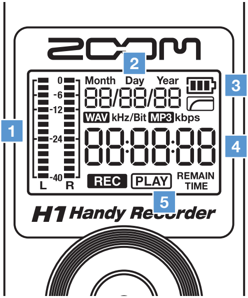


各部名称と機能

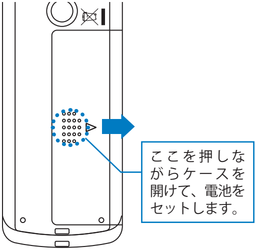
■本体各部



■画面表示



■電池の入れ方



※乾電池はアルカリ電池またはニッケル水素蓄電池をご使用ください。

■本体各部

1	ライン／ヘッドホン出力端子	ヘッドホンや外部機器に音声を出力することができます。
2	音量調節スイッチ	出力レベルを調節できます。
3	microSD カードスロット	microSD カードまたは microSDHC カードを差し込んで使用できます。
4	LO CUT 切り替えスイッチ	ローカット（雑音軽減）機能の ON/OFF ができます。
5	AUTO レベル切り替えスイッチ	録音レベルの自動調節機能の ON/OFF ができます。
6	録音フォーマット 切り替えスイッチ	録音フォーマットを選択できます。
7	三脚取り付け穴	位置固定する際の三脚を取り付けられます。
8	電池カバー	単三形乾電池 1 本を収納できます。
9	ステレオマイク	前方 90°の範囲の音声をステレオ録音できます。
10	REC/PEAK LED	録音時に点灯、入力信号過多の時（PEAK 検出時）に高速点滅します。
11	液晶画面（LCD）	各種情報が表示されます。
12	録音ボタン	録音の開始・終了やファイル消去の決定時などに使用します。
13	内蔵スピーカー（モノラル）	ライン／ヘッドホン出力端子未使用時、記録した音声を聴くことができます。
14	マイク／ライン入力端子	外部機器からの出力音声やマイクを使って録音したいときに使用します。プラグインパワー方式のマイクを使用する事もできます。
15	入力レベル調節スイッチ	録音レベルを手動で調節できます。
16	早送りボタン	再生時にファイル選択と早送りを、通常画面では録音フォーマットを選択できます。
17	再生ボタン	ファイルの再生・停止に使用します。通常画面では、トラックマークが打てます。
18	早戻しボタン	再生時にファイル選択と早戻しを、通常画面では録音フォーマットを選択できます。
19	削除ボタン	不要なファイルを削除できます。
20	電源ボタン	電源の ON/OFF や、キー操作を無効にすることができます。
21	USB 端子	電源供給やカードリーダーとして使用したいときに接続します。

■画面表示

1	レベル表示	入出力レベルを表示します。
2	ファイル／ フォーマット情報表示	録音フォーマットや、再生ファイルの録音日時、ファイル番号を表示します。
3	電池残量表示	電池残量を表示します。USB での電源供給時には表示されません。
4	時間表示	挿入されている microSD カードへの録音可能時間や再生時間、消去時のファイル名などを表示します。
5	ステータス表示	現在の状態を表示します。

The FCC regulation warning (for U.S.A.)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device,pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- **Reorient or relocate the receiving antenna.**
- **Increase the separation between the equipment and receiver.**
- **Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.**
- **Consult the dealer or an experienced radio/ TV technician for help.**

For EU Countries

Declaration of Conformity:
This product complies with the requirements of
EMC Directive 2004/108/EG and
Low Voltage Directive 2006/95/EC

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in European countries with separate collection systems)

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Windows は、米国 Microsoft 社の商標です。Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の登録商標または商標です。microSD、microSDHC ロゴは商標です。文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

・MPEG Layer-3 オーディオ圧縮技術は、Fraunhofer IIS 社と Sisvel 社よりライセンスを得ています。

・コンサートや講演等を権利者に無断で録音することは、法律で禁じられています。

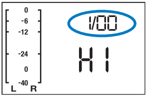
本書の内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

ファームウェアのバージョンアップ

必要に応じて、ファームウェアのバージョンアップを行います。

MEMO

ファームウェアのバージョンは起動時に確認することができます。
たとえばバージョンが 1.00 のときには、「1/00」と表示されます。

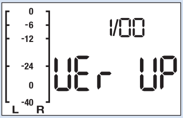


1. バージョンアップ用ファイルを microSD カードにコピーします。

・最新のバージョンアップ用ファイルは弊社の Web サイト（www.zoom.co.jp）からダウンロードできます。

2. ►/II を押しながら、電源スイッチをスライドして起動します。

バージョンアップモードが起動し、現在のバージョンとバージョンアップ後のバージョンが交互に表示されます。



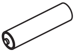
3. 表示されたバージョンアップ内容でよければ、◉ ボタンを押して確認画面を表示させてから、再度 ◉ を押します。
バージョンアップが開始されます。

同梱品一覧

・H1 本体

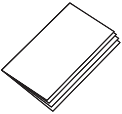


・単三形乾電池× 1（試供品）



※乾電池はアルカリ電池またはニッケル水素蓄電池をご使用ください。

•クイックスタートガイド（本書）



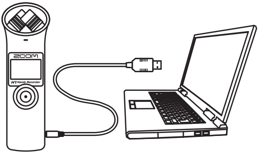
・microSD カード（2GB）



接続する 外部機器との接続

本製品の電源をオフにした状態で、Windows 搭載 PC または Macintosh と USB ケーブルで接続すると、本製品を microSD カードリーダーとして使用する事ができます。

microSD カードへ録音したファイルは「STEREO」フォルダ内の「FOLDER01」フォルダに保存されます。
また、本体メモリへ録音したファイルは、microSD カードを挿入せずに起動してからカードを挿入する事によって「STEREO」フォルダ内の「BLT-IN」フォルダに保存されます。



安全上／使用上のご注意

警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にご使用いただくために、次の事項にご注意ください。

■電源・電池について

警告

- AC アダプターは必ず USB 接続タイプの「DC5V 1A（ZOOM AD-17：別売）」をご使用ください。
- AC アダプターを長時間ご使用にならないときは、コンセントから抜いてください。
- 本製品は充電機能を持っていません。乾電池の注意事項をよく見てご使用ください。
- 乾電池をご使用の際は、市販のアルカリ電池またはニッケル水素蓄電池の単三形乾電池× 1 を正しい方向にセットしてお使いください。
- 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り出してください。

■使用環境について

注意

次のような場所でのご使用は、故障の原因となりますのでお避けください。

- 温度が極端に高くなるところや低くなるところ
- 暖房器具など熱源の近く
- 湿度が極端に高いところや、水滴のかかるところ
- 砂やほこりの多いところ
- 振動の多いところ

■取り扱いについて

警告　本製品を分解したり、改造しないでください。けがや故障の原因となります。分解・改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

注意　スイッチ類には無理な力を加えないようにしてください。必要以上に力を加えたり、落としたりぶつけるなどの衝撃は故障の原因となります。

このクイックスタートガイドは将来必要となることがありますので必ず参照しやすいところに保管してください。